



No.154 2021. 7

発行 真言宗 豊山派
北田山 寶泉寺
所沢市北岩岡 130
編集 色摩 真了
ホームページアドレス
takaranoizumi.com

コロナ禍の法話 これからの法話



今から約 2500 年前、仏教をお開きになったお釈迦さまは、法話の達人で生涯を布教の旅に捧げました。また、真言宗の開祖であるお大師さまも日本各地を行脚し、教えを説いてまわった時期があるとされています。

このように「法話」と仏教とは切っても切れない関係にあり（反対にほとんど法話や布教を行わない宗教も少なくありません。）、私も葬儀やご法事の際はもちろん、新型コロナウイルスが流行する前は、いろいろなお寺や居酒屋、カフェ等で月に一度は法話会を行っていました。



残念ながらコロナ禍の現在、人が集まったの法話会はほとんどできていない状況です。それでも新しい法話の形として、最近インターネットの動画共有サイト「YouTube」での僧侶による発信が目立ってきています。かくいう私自身、自前のチャンネル

「北田山宝泉寺」や、仲間と共に作った「法話研鑽会」というグループで、今年に入ってからオンライン法話に挑戦しています。

「北田山宝泉寺」チャンネルでは、「宝泉寺の本棚」と銘打ち、毎回一冊の絵本をとりあげ、そのなかから仏さまの教えを見出してみようという企画のもと、これまで『はらぺこあおむし』、『100万回生きたねこ』、『かさじぞう』などをピック



アップしました。

また、「法話研鑽会」では、インターネット上で顔を合わせて話し合いができるアプリ「Zoom」を使い、パソコンやスマホの画面上ではあるものの、聞いてくれる人がいる状態でお話を録画し、それを YouTube にアップしています。

いずれにしても、インターネットを介した法話は、反応がダイレクトに感じられない分、やりにくいところもあるのですが、一方で、画面上に字幕を入れたり、特殊な効果を加えたりすることで、耳の不自由な方にも内容を伝えることができたり、大切なところを強調したりすることが容易になったりなどの利点も感じているところです。

これからの時代の法話は、このように新しい技術や仕組みを取り入れて発展していくのかもしれませんが、でも、やっぱり大切なのはその中身。そして早く直に皆さんとお会いしてお話したいなと考える日々です。(真了)



大般若転読会報告



今年の大般若転読会も残念ながら最小限のメンバーで営みました。

撮影した動画は、60分の法要を15分にまとめ、細かな解説を付しアップしました。
短い動画ですのでどうぞご覧ください。



「北田山宝泉寺」と検索するとYouTubeのページがすぐに見つかります。
興味のおありの方はご視聴いただくと嬉しく思います。

財施と法施

お寺の維持や管理運営は基本的にはお檀家の皆様からのお布施によって成り立っています。葬儀やご法事にいただくお布施はもちろん、お参りの際のお賽銭、そしてお盆やお彼岸などにいただくお包みや、時宜に応じていただくお気遣いの品物などもお布施の一つです。今でも東南アジアなどの仏教国では僧侶の托鉢の際には、食べ物をはじめ色々なものを布施することが続いています。このような布施を財施といいます。一方、法施とはお寺や僧侶が仏法を説くこと、場面に応じた説法はもちろんその人柄や行い、また本堂をはじめとする堂塔伽藍、境内環境まで含まれ、財施と法施は相互作用でもあります。

小僧(しょうそう)は晋山以来「お寺に行くと気持ちがいいナァ」と思っていたけるようにと考えてきたつもりです。木々がきれい、花が咲いている、そして実もなっている、そんな法施もアリだとも思っています。どうしてか今年はハナモモが全滅、ユズやカボス、柿がまあまあ、去年ぐらいからブルーベリーが実をつけはじめ今が食べ頃です。境内の果物は皆さんに食べてもらいたいと植えてあるものですので、どうぞご笑味下さい。特に柿は秋のお彼岸にはちょうどいい食べ時で、楽しみにしておられる方もおいでです。後年、皆様の胸に思い出の一つとしてとして残ってもらえればなあと、一方的な思いも込められています。



さて柿の木ですが、このところ剪定や摘果を栽培農家から教えてもらう機会があり、また去年からあるもくろみがあって「接ぎ木」に挑んでいます。去年は全滅でしたが今年は好成績、一本の木に二種類の実になることになります。他にユズの木にはスダチ、レモンも成功、どうぞ数年先をお待ちください。自然条件と生物学的な特性が微妙に作用し合う、栽培技術の習得も小僧の楽しみの一つです。

接ぎ目のケアも大事、風や人の接触などで折れることもあるそうだ。

お盆合同法要

寶泉寺では、お盆に帰られたご先祖様のための合同法要を本堂で行っております。申し込みは不要です。どうぞお迎えの際にお気軽にご参加下さい。

日時 8月13日（金） 午後4時 法要開始
会場 寶泉寺本堂
集合 「るり洞」

新盆の方は2時開始
となります

盆供・施餓鬼会

盆供（ぼんこ）は、例年どおり7月21日朝6時～9時です。お施餓鬼については、今年も檀信徒皆さまのご参列はご遠慮いただくことになりました。8月11日の午前中に法要を行いますので、お塔婆は当日の13時からお渡し致します。詳細は別紙をご覧ください。

盆供、施餓鬼塔婆のお申し込みはぜひぜひ 7月21日から7月末日までお願い致します。

墓地清掃後の花柄や草、剪定枝等はゴミカゴへ。古いお塔婆は大師堂裏の塔婆置き場へお願い致します。可燃ゴミ類は軽トラック荷台へも結構です。

なお、お盆の後の竹などを含むお供物類は庫裡北側の毎年設置します保管場所へお願い致します。その際は可燃、破碎、不燃等ご家庭での普段通りの分別をして頂くとたすかります。



ハチにご注意！

お墓のお線香を置く
香炉に、この時期ハチが
巣を作ることがあります。
お参りの際はお気を付けて！

編集後記

- この春、昨年に続いて雑木林の手入れ作業に、皆様のご協力をいただきました。この場でお礼を申し上げます。このような労力の提供も財施ですね。
- 子どもの頃庭先の果物を食べながら遊びに夢中だった。あのころは家々の庭先には色々な果物があつたことを思い出している。お寺にもそんな思い出が欲しいと思っている。
- 昨日、コロナワクチン接種が完了。一安心だが気は緩めない方がいい、と自分に言い聞かせている。まだ感染者は増えている状

況で寶泉寺でも大般若会、施餓鬼会は自粛となった。誰もが身の回りから感染しないようにと我慢や緊張を強いられている。そんな中のオリパラの開催、手放しでは喜べない。

- よく「塀や駐車場がきれいになって良かったですね」と声をかけられる。市道に歩道が整備されたことに学童だけではなく、地元の生活者にも安心感は大い。つい最近千葉県では学童の下校の列にトラックが飛び込む惨事が起きたばかり、何事もないことを祈るばかりだ。

Jul. 6. 2021 (琴)